

ひめだ高松ニュース

No.1026

14. 9. 17

日本共産党 和歌山市公議員

9月定例会市議会は18日(木)から

9月11日(木)市議会・議会運営委員会が開かれ、9月定例会市議会日程案が(2)面のとおり決まりました。尾花市長がどういう考えでどんな施策を展開するか、日本共産党市議団は、中村あさこ市議を含める人全員で代表・一般質問を行います。本会議は、市議会ホームページで生中継、録画中継されます。代表質問は例年どおり、テレビわかやま、和歌山放送ラジオでダイジェスト放送されます。

市長の政治姿勢について

代表質問

日本共産党の代表質問は、私、ひめだが行うことになりました。9月22日(月)の代表質問は、絆クラブ、

市民クラブ、公明党議員団、共産党議員団の順に午前2人、午後2人の予定で、私は昼から3番めになります。

今回の代表質問では、市政運営に関わる尾花市長の政治姿勢を明らかにするために、(1)市長選挙について、争点となった山口地区滝畑の産業廃棄物最終処分場建設に「反対」の意思表示をした尾花市長の真意を確かめ今後の対応と投票所問題について質問します。
(2)基本的な政治姿勢について、集团的自衛権行使の閣議決定や原発ゼロ、県の防災訓練へのオスプレイ参加、紀淡連絡道路計画、国民健康保険における国の負担割合を増やすことや介護保険の要支援者の訪問・通所サービスを保険から外すことなど国の政治に関する

尾花市長の考えを質問します。そのほか、(3)所信表明

について、(4)旧同和事業の廃止を求めて質問します。

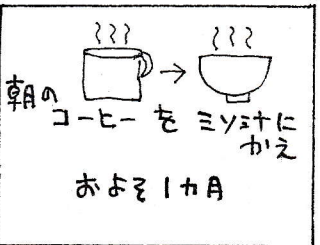
こんにちは 日本共産党の かとう直人 とです。

(その35)

示された市民要求は、国保料・下水道料金等の値下げ、多岐も医療費の拡大、雇用改善、公共住宅、身近な公共事業、リフォーム制度、産廃計画撤回等々。アンケートに送られたであろう小さくも切実な声に基づいて、ここからの共産党の活躍が光ってくる。要実現と革新和歌山市への発展共産党の飛躍的拡大と思いは膨らんでいく。託されたアンケートが導いてくれる。

フリーの 人々

809




「活気ある住みよい和歌山市をつくる会」の市民市政アンケートの回答が、3600通を超えて寄せられたという話、その数はこれまでの中でダントツという。以降は私の独断：和歌山市の世帯数は約15万。その半数7.5万世帯にアンケートを配布したらしい。一通の陰には10倍もの要望が渦巻いているとすれば、ちょうどこの半分の世帯が今回のアンケートに反応してくれたということにな



かとう直人 (県議予定候補)

9月定例会市議会運営日程(案)

月日	曜	会	議	備考
9/18	木	本会議	議案説明	
22	月	"	代表質問	
24	水	"	一般質問	
25	木	"	"	[請願受理期限]
26	金	"	"	
29	月	"	"	
30	火	"	委員会付託	
10/1	水	常任委員会	私、ひめだは 経済文政委員 です	
2	木	"		
3	金	"		
6	月	特別委員会	地震等災害対策	
7	火	"	環境保全対策	
9	木	本会議	委員報告 議決	

私、ひめだの質問は、22日(月)午後の2番目です。

日本共産党 赤旗まつり (東京・夢の島)

第41回 ツアー

11月1日(土) 2日(日)

和歌山駅 6-52 宛 和歌山駅前 21-30 宛

宿泊は 和歌山のリゾートホテル(個室、朝食付)

45,000円(空港までの往復と宿泊料)

別に空港・宿泊所～まつり会場までの交通費と1日2日の昼食と夕食は各自で用意をお願いします。

募集は 30人... 申し込みは 432-6222 (井本)まで。

「んにちは」 日本共産党

遊藝税10%は中止せよ。

9月14日(日)日本共産党の志位和夫委員長は、NHKの「日曜討論」のインタビュアー「アベノミクス」にどう対応するかについて問われ、「田

母による物価上昇に「わえて、消費税の増税によって日本経済は『好循環』どころか悪循環の危険水域に入っている」と指摘し、4ヶ月のGDP(国内総生産)の大幅下落は、家計消費と企業投資が落ち込んだことが原因であると強調しました。

そのうえで、①消費税増税率10%への増税は中止する。②大企業への減税は「まきやめ、富裕層と大企業に自分の負担を求め、税制改革で財源をつくる」。③28.5兆円にまで膨れ上がった大企業の内部留保の一部を活用して、大幅な雇上げ、安定した雇用を確保する」という対策を打ちました。

佐古田武士さん(61)

9月5日(金)日本共産党の佐古田武士さんが亡くなりました。佐古田さんは、私、ひめだが初当選した91年当時、和歌山市議団の事務局員をしていました。

「ガリ版印刷で鍛えたのが、きれいな見出しの大文字や文章の文字をロットリング社の製図ペンをナメながら書いていました。当時佐古田さんが書いた市政ウォッチングや夕刊黒書などの労作は、いまだにその輝きを失っていません。まじめな顔で、どこまでホントかどうかわからない冗談を言いつつハッピーと笑いでばす人でしたが、市政がどうあるべきかと熱く説いてくれたその話は、私の中に染みついています。

小里重雄さん(61)

9月2日(金)日本共産党和歌山支部の小里重雄さんが亡くなりました。小里さんは、生まれも育ちも和歌浦だということですが、どこにどんな抜け道があるとか、そここの家族の状況とかをホントによく知っていて教えてくれました。

私、ひめだの初当選当時、私、ひめだも働いていて化学の専攻部でしたが、和歌浦考

田さんが書いた市政ウォッチングや夕刊黒書などの労作は、いまだにその輝きを失っていません。まじめな顔で、どこまでホントかどうかわからない冗談を言いつつハッピーと笑いでばす人でしたが、市政がどうあるべきかと熱く説いてくれたその話は、私の中に染みついています。

える会に参加し、また地域の協議会や学習会をはじめ高松後援会の催し物にも必ず来てくれるおなじみマジメな人でした。昨年6月、さいい地方選の前には、小里さんの提案で、和歌浦の不老橋から小里さんの船に乗り、つるた泉と一緒には、和歌浦の夕景橋を近までいって、夕陽を眺めたことが忘れられません。